独立行政法人国立美術館

国立西洋美術館概要

Independent Administrative Institution
National Museum of Art

THE NATIONAL MUSEUM OF WESTERN ART, TOKYO 2021

令和3年

概 要

国立西洋美術館はフランス政府から寄贈返還された松方コレクション（印象派の絵画及びロダンの彫刻を中心とするフランス美術コレクション）を基礎に、西洋美術に関する作品を広く公衆の観覧に供する機関として、昭和34年4月に発足しました。以来、広く西洋美術全般を対象とする唯一の国立美術館として、展覧会事業を中心に、西洋美術に関する作品及び資料の収集、調査研究、保存修復、教育普及、出版物の刊行等の事業を展開しています。また、平成13年4月からは国立美術館各館を統合して独立行政法人国立美術館が発足し、国立西洋美術館は独立行政法人国立美術館が設置する美術館の一つとなりました。

本館はル・コルビュジエの設計によるものであり、平成28年7月に国立西洋美術館を構成資産に含む「ル・コルビュジエの建築作品―近代建築運動への顕著な貢献―」が、世界遺産一覧表へ記載（登録）されました。

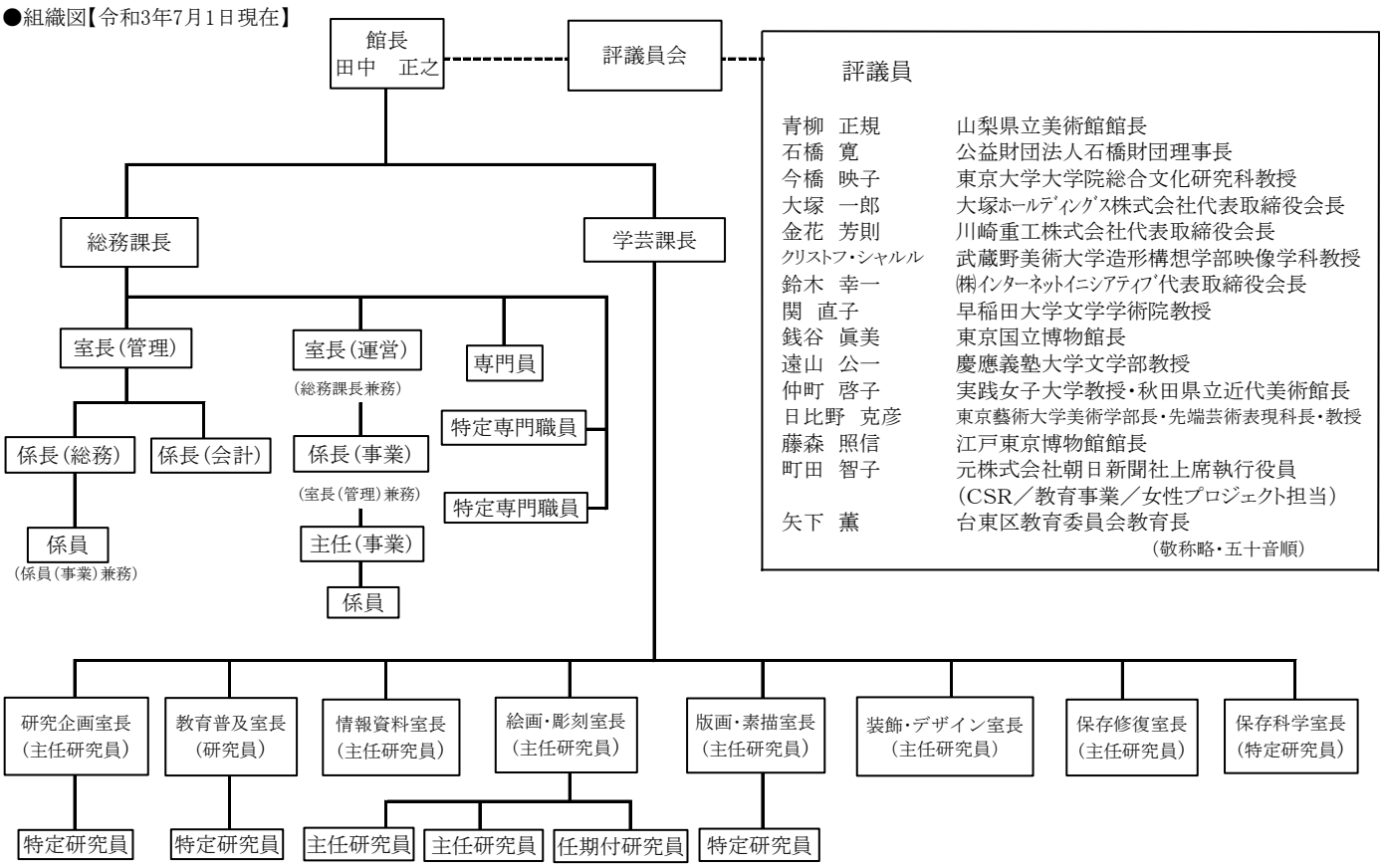
新館の設計は前川國男によるものです。

沿 革

1951（昭和26）年	４月	株式会社川崎造船所の社長であった故松方幸次郎が大正5年から十数年に渡りヨーロッパ各地で集めた絵画、彫刻等いわゆる松方コレクションは、サンフランシスコ平和条約により、連合国の管理下にある日本国民の財産として、フランス政府の所有に帰した。
1953（昭和28）年	６月	フランス大使から外務大臣あてに覚書が提出され、日本側が東京にフランス美術館を創設することが、松方コレクション返還の不可欠の条件である旨の要望があった。
	12月	「松方コレクション受入れについて」の閣議了解をうけ、文部省に「フランス美術館」（仮称）設置準備協議会が置かれた。
1959（昭和34）年	１月	フランス政府―日本政府間の松方コレクション寄贈返還の正式調印がなされた。
	３月	国立西洋美術館建物が竣工した。
	４月	文部省設置法の一部改正により国立西洋美術館が設置された。
	６月	開館式、一般公開を行った。
1964（昭和39）年	７月	講堂、事務庁舎が竣工した。
1968（昭和43）年	６月	文部省設置法の一部改正（文化庁の設置）により、国立西洋美術館は文化庁附属機関となった。
1979（昭和54）年	５月	新館が竣工した。
1984（昭和59）年	７月	文部省設置法の一部改正により、国立西洋美術館は、文化庁の施設等機関となった。
1997（平成 9）年	12月	企画展示館が竣工した。
1998（平成10）年	３月	本館耐震改修（免震化）等工事が竣工した。
	４月	本館・新館がリニューアル・オープンした。
2000（平成12）年	３月	新館第三展示室（版画素描室）改修工事が竣工した。
2001（平成13）年	４月	独立行政法人国立美術館法に基づき独立行政法人国立美術館が発足し、国立西洋美術館は独立行政法人国立美術館が設置する美術館となった。
2002（平成14）年	３月	研究資料センターを開設した。
2007（平成19）年	９月	本館が国の世界遺産暫定一覧表に記載された。
	12月	本館が国の重要文化財に指定された。
2008（平成20）年	２月	本館を含む「ル・コルビュジエの建築と都市計画」(6カ国共同推薦)の世界遺産推薦書がユネスコ世界遺産センターに提出された。
2009（平成21）年	２月	新館空気調和設備その他工事（建築・電気設備・機械設備）が竣工した。
	６月	新館がリニューアル・オープンした。 開館50周年記念式典を挙行した。
	６月	第33回世界遺産委員会において「情報照会」の決議が採択された。
	７月	園地が国の登録記念物に指定された。
2011（平成23）年	６月	第35回世界遺産委員会において「記載延期」の決議が採択された。
2016（平成28）年	７月	第40回世界遺産委員会において、国立西洋美術館を構成資産に含む「ル・コルビュジエの建築作品―近代建築運動への顕著な貢献―」（7カ国共同推薦）を世界遺産一覧表へ「記載」とする決議が採択された。

組　織

●組織図【令和3年7月1日現在】



評議員

青柳　正規	山梨県立美術館館長
石橋　寛	公益財団法人石橋財団理事長
今橋　映子	東京大学大学院総合文化研究科教授
大塚　一郎	大塚ﾎｰﾙﾃﾞｨﾝｸﾞｽ株式会社代表取締役会長
金花　芳則	川崎重工株式会社代表取締役会長
ｸﾘｽﾄﾌ・ｼｬﾙﾙ	武蔵野美術大学造形構想学部映像学科教授
鈴木　幸一	㈱ｲﾝﾀｰﾈｯﾄｲﾆｼｱﾃｨﾌﾞ代表取締役会長
関　直子	早稲田大学文学学術院教授
銭谷　眞美	東京国立博物館長
遠山　公一	慶應義塾大学文学部教授
仲町　啓子	実践女子大学教授・秋田県立近代美術館長
日比野　克彦	東京藝術大学美術学部長・先端芸術表現科長・教授
藤森　照信	江戸東京博物館館長
町田　智子	元株式会社朝日新聞社上席執行役員（CSR／教育事業／女性プロジェクト担当）
矢下　薫	台東区教育委員会教育長

（敬称略・五十音順）

●職員数 【令和3年7月1日現在】

館長	事務職員								研究職員						合計
	課長	室長	専門員	係長	主任	係員	特定専門職員	計	課長	主任研究員	研究員	任期付研究員	特定研究員	計	
1	1	1(1)	1	2(1)	1	1(1)	2	9	1	8	1	1	4	15	25

( )内は兼務

予算

（単位：千円）

収入	令和2年度	令和3年度	支出	令和2年度	令和3年度
運営費交付金	445,960	501,080	美術振興事業	373,534	274,654
自己収入	233,691	2,054	ナショナルコレクション形成・継承事業	90,599	99,979
			ナショナルセンター事業	19,420	17,694
			一般管理費	196,098	110,807
計	679,651	503,134	計	679,651	503,134

※当初予算額。人件費は除く。

展覧会

●展覧会の開催

当館では、創立当初からの松方コレクション（印象派の絵画及びロダンの彫刻を中心とするフランス美術コレクション）及び、毎年収集している中世末期から20世紀初頭までの西洋美術に関する作品を収蔵し、これらの絵画、素描、版画、彫刻や工芸から150～200点の作品を選び、常設展として西洋美術の流れが概観できるような展示を行っています。

また、欧米等の美術館からの借用作品による企画展を、新聞社等との共催展として年3回程度開催しています。

展覧会　令和2年度実績

種　別	展 覧 会 名	開 催 期 間	開催日数（日）	共催者	総入場者数（人）	一日平均（人）
常　設　展	「ルネッサンス以降のヨーロッパ近世絵画」 「近・現代絵画と彫刻」	令和2年6月18日 ～ 令和2年10月18日 ※2	109	—	117,718	1,080
小 企 画 展（常設展と併設）	内藤コレクション展Ⅱ「中世からルネサンスの写本 祈りと絵」	令和2年6月18日 ～ 令和2年8月23日 ※3	61	—	—	—
	内藤コレクション展Ⅲ「写本彩飾の精華　天に捧ぐ歌、神の理」	令和2年9月8日 ～ 令和2年10月18日 ※4	36	—	—	—
共　催　展	ロンドン・ナショナル・ギャラリー展	令和2年6月18日 ～ 令和2年10月18日 ※3	109	※1	293,418	2,692

※1　ロンドン・ナショナル・ギャラリー、読売新聞社、日本テレビ放送網

※2　当初会期は令和2年4月1日～10月18日（175日）。新型コロナウイルス感染症予防のための全館臨時休館（令和2年2月29日～6月17日）により、会期を変更した。

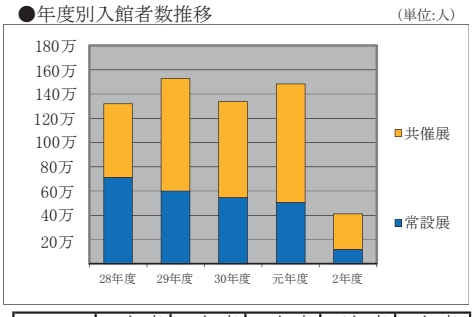
※3　当初会期は令和2年3月3日～6月14日（令和2年度66日、全期間92日）。新型コロナウイルス感染症予防のための全館臨時休館により、会期を変更した。

※4　当初会期は令和2年7月11日～10月18日（89日）。新型コロナウイルス感染症予防のための全館臨時休館により、会期を変更した。

令和3年度は館内施設整備のための全館休館により展覧会の開催はなし。

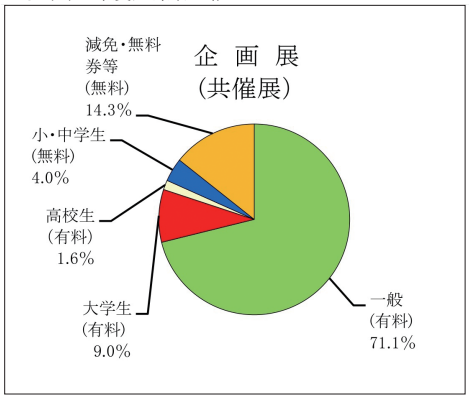
入館者数

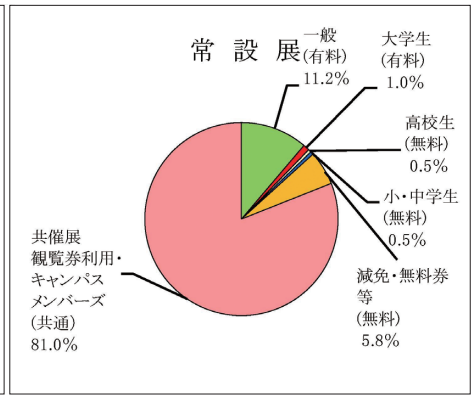
●年度別入館者数推移　（単位:人）



	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
常 設 展	712,666	601,351	546,836	507,994	117,718
共 催 展	606,233	926,719	792,329	977,285	293,418
合　計	1,318,899	1,528,070	1,339,165	1,485,279	411,136

● 令和2年度入館者内訳





所蔵美術作品等

●作品の収集と保管

中世末期から20世紀初頭に至る西洋の絵画、素描、版画、彫刻及び工芸美術品等の収集を行っています。これらに加えて旧松方コレクションの収集を続けています。

所 蔵 作 品　　（令和3年3月31日現在）

区分／種類	設立時の松方コレクション	購入	寄贈	管理換	計	寄託	合計
絵画	196	213 (+2)	74 (+3)	7	490 (+5)	24 (+1)	514
素描	80	162 (+4)	62 (+6)	1	305 (+10)	105	410
版画	26	4,039 (+175) (−35)※	243 (+2)	0	4,308 (+177)	8	4,316
彫刻	63	15	26	0	104	1	105
写真	0	0	0	0	0	104	104
工芸	0	5	818	0	823	1	824
書籍	0	57 (+1) (+1)※	16	0	73 (+1)	6	79
参考作品等	5	87	193 (+15)	0	285 (+15)	1	286
計	370	4,578 (+182)	1,432 (+26)	8	6,388 (+208)	250	6,638

( )は令和2年度増減数で内数

※令和2年度中に下記のとおり作品と美術資料の分類方法の変更を行ったため数字に増減が生じた。

・連作版画36点をまとめて書籍1点として登録し直した。　・作品の付属品1点も版画作品としてカウントすることとした。

●資料の収集

当館は1959（昭和34）年の設立以来50年以上にわたって展覧会企画や西洋美術史研究のために文献資料を収集してきました。これらの資料を館内外の美術館職員、研究者に公開し、我が国における西洋美術研究及び美術館活動の振興に資することを目的として、2002（平成14）年3月15日に研究資料センターを開設しました。

同センターでは西洋美術に関する資料を対象に収集、整理を行っています。特に中世から20世紀前半までの時代に重点を置き、展覧会カタログやカタログ・レゾネなどの図書、学術雑誌、電子リソース等の提供に努めています。蔵書数は現在、図書約 53,000冊、逐次刊行物延べ3,165タイトルを数えます。

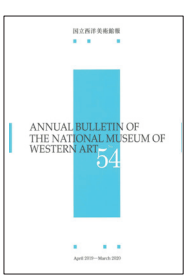
所 蔵 資 料　　（令和3年3月31日現在）

区分	種類		数量
図書	和書		13,970 冊
	洋書		38,981 冊
	計		52,951 冊
逐次刊行物	和逐次刊行物		32,221 冊
	洋逐次刊行物		38,290 冊
	計		70,511 冊
その他	ファイル資料		1,053 件
	マイクロ資料	フィッシュ	19タイトル　71,090 枚
		フイルム	16タイトル　357 本

図書、逐次刊行物の数量は電子ブック、電子ジャーナルを含む

●調査研究

当館では、所蔵作品及び各展覧会に関する調査研究を恒常的に行っています。また、各研究員がそれぞれ専攻する分野の課題についても調査研究を行っています。（詳細については各展覧会図録、『国立西洋美術館報』及び『国立西洋美術館研究紀要』を参照。『国立西洋美術館報』及び『国立西洋美術館研究紀要』は、「国立西洋美術館出版物リポジトリ」を通じてダウンロード可能です。）



《国立西洋美術館報》

《国立西洋美術館研究紀要》

教育普及事業等

●教育普及各種プログラム

当館では、所蔵作品による常設展を中心に、学校、一般来場者、家族など多くの利用者に向けて、多様なプログラムを通年で実施しています。企画展に関連して講演会、スライドトークなども定期的に行っています。

事　業　名	タイトル等	概　　要
常設展関連プログラム	美術トーク	第1・第3・第5土曜日と毎週日曜日、および不定期の金曜日夜間開館時にボランティアスタッフが常設展示作品を数点選び解説
	建築ツアー	第2・第4水曜日と毎週日曜日にル・コルビュジエ設計の世界遺産に登録された本館建物や前庭を巡り、ボランティアスタッフが解説
	作品熟覧プログラム『西洋版画を視る』	通常は夏期開催。大学院生、教員を対象に、所蔵版画作品をアクリルガラスを通さず直に見るプログラム 技法についての簡単な体験も併せて行う
	美術館でクリスマス	クリスマス・シーズンに行うプログラム ギャラリートークやクリスマスキャロル・コンサートなどを実施
ファミリープログラム	どようびじゅつ	3・4・5・9・10・11月の第2・第4土曜日に行う常設展示作品の鑑賞と創作等の体験がセットになったプログラム
学校関連プログラム	スクール・ギャラリートーク	小・中・高校生等に対してボランティアスタッフが行う予約制の常設展示作品の鑑賞プログラム
	オリエンテーション	大人数の団体を対象に、講堂で常設展又は企画展について解説を行う予約制のプログラム
	職場訪問	修学旅行や総合学習の一環でグループで来館する生徒を対象に、美術館や学芸員の仕事に対する質問に対応
	先生のための鑑賞プログラム	企画展ごとに小・中・高校の教員を対象に、講堂で展覧会の趣旨や主な作品について展覧会担当者が解説
企画展関連プログラム	講演会	講堂で企画展のテーマにあわせた講演を実施
	スライドトーク	夜間開館時に講堂でスライドにより展覧会の見どころを解説
	障がい者のための鑑賞プログラム	展覧会概要の説明と自由鑑賞がセットになったプログラム 年1回閉館後に開催
ボランティアによる活動	研修を受けたボランティアスタッフにより、ファミリープログラムやスクール・ギャラリートーク、美術トーク、建築ツアーを中心とした活動を実施	
インターンシップ	大学院生以上を対象として、当館職員のもと、所蔵作品の調査・展覧会や教育プログラムの企画補助など、各々が希望する専門分野に分かれて行う実務研修	
他組織との連携	小・中学校教員が組織する研究団体、美術館などと協力・連携して行う授業・研修・プログラムなど	

※令和3年度については、全館休館のため展示室でのプログラムはなし。ファミリープログラム、学校関連プログラム、ボランティア研修、レクチャーなどオンラインにて不定期に実施。

●出版物等

出版活動として、研究紀要、館報、展覧会図録のほか、季刊の国立西洋美術館ニュース『ゼフュロス』、所蔵品図録等を刊行しています。また、常設展示の作品や本館建築の音声ガイドの貸出も行っています。

事　業　名	タイトル等	概　　要
出版物	国立西洋美術館ニュース「ゼフュロス」	展覧会や教育プログラムなどの活動を広報する季刊誌
	国立西洋美術館ﾌﾞﾘｰﾌｶﾞｲﾄﾞ（日・英・中・韓）	観覧者向けの当館利用案内パンフレット
	世界遺産パンフレット（日・英・中・韓）	ル・コルビュジエが設計し、世界遺産に登録された本館建築の特徴や、同時に登録された他の資産を紹介したパンフレット
	ジュニア・パスポート	企画展の入場券を兼ねた小中学生対象の展覧会ガイド
	展示作品リスト（日・英・中・韓）	企画展の無償配布の作品リスト
音声ガイド	常設展（所蔵作品展）音声ガイド （日・英・中・韓）	所蔵作品の中から約30点を選び、作家や作品の特徴などを解説（有料・300円）
	建築のみどころを解説した音声ガイド （日・英・中・韓）	本館建築のうち、ル・コルビュジエの特徴が表れた箇所を解説（有料・300円）
	企画展音声ガイド （日・英・中・韓）	展示作品や作家の特徴などを解説（有料）

※令和3年度については、全館休館のため展示に伴う出版物・音声ガイドは実施なし。

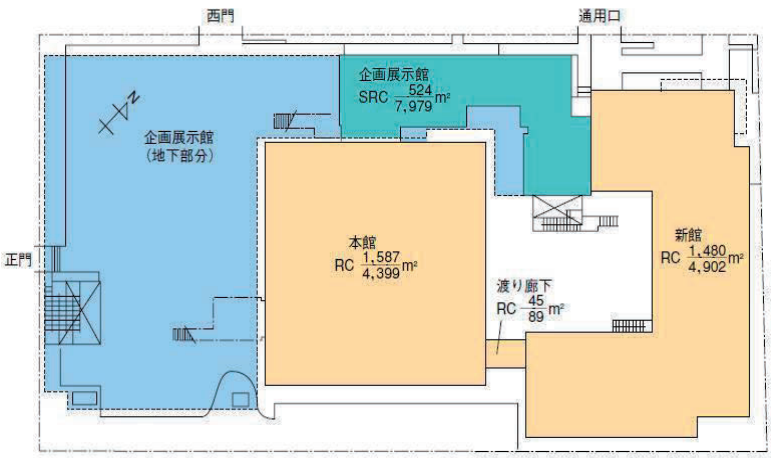
施　設

●土　地　　（令和3年6月1日現在）

区　　分	面　　積	摘　　要
所　有　地	2,208　㎡	昭和42,43年度に寛永寺所有地を購入
借　用　地	7,080　㎡	東京都より有償借用
計	9,288　㎡	

●建　物　　（令和3年6月1日現在）

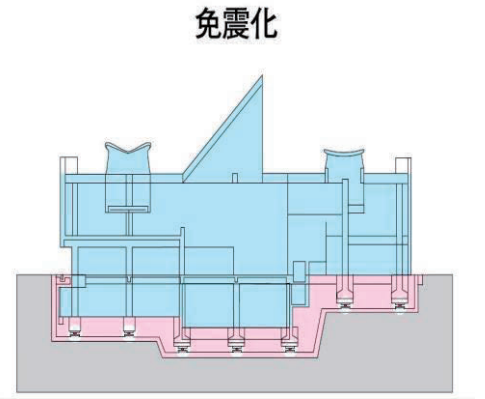
区　　分	構造・階数	竣　工	面　積		摘　要
			建築	延床	
本　　館	RC・地上3階・地下1階	昭34.2.28	1,587　㎡	4,399　㎡	展示室　1,533　㎡
新　　館	RC・地上2階・地下2階	昭54.5.31	1,480　㎡	4,902　㎡	展示室　1,525　㎡ 収蔵庫　676　㎡
渡り廊下	RC・地上2階	昭54.5.31	45　㎡	89　㎡	
企画展示館	SRC・地上2階・地下4階	平9.12.25	524　㎡	7,979　㎡	展示室　1,362　㎡ 収蔵庫　421　㎡
計			3,636　㎡	17,369　㎡	展示室　4,420　㎡ 収蔵庫　1,097　㎡



当館本館は、戦後、日仏間の国交回復・関係改善の象徴として、20世紀を代表する建築家のひとりであるフランス人建築家ル・コルビュジエの設計により、1959（昭和34）年3月に竣工した歴史的建造物です。

1998（平成10）年には地震に強い建物とするために、基礎部分に免震装置を取り付ける「免震レトロフィット」と呼ばれる改修工事を完成させています。

企画展示室　　本館展示室　　新館展示室



本　館

国立西洋美術館案内

国立西洋美術館は、2020年10月19日（月）から2022年春（予定）にかけて、館内施設整備のため、全館を休館いたします。全館休館期間中は、ミュージアムショップやカフェ「すいれん」を含め、館内施設はご利用いただけません。詳しくはホームページをご確認ください。

○開館時間

常設展 午前9時30分～午後5時30分
金曜日・土曜日：午前9時30分～午後8時

企画展 午前9時30分～午後5時30分
金曜日・土曜日：午前9時30分～午後8時
※ 各企画展により、開館時間を変更することがあります。

※ 入場は閉館の30分前までです。
※ 臨時に開館時間を変更することがあります。

常設展ミュージアムショップ 常設展の開館時間に準じます。
※オンラインショップ「国立西洋美術館ショップ」 https://www.nmwatokyo-shop.org/

○カフェすいれん
営業時間

午前10時～午後5時15分（ラストオーダー 食事：午後4時30分 喫茶：午後5時）
金曜日・土曜日：午前10時～午後9時まで（ラストオーダー 食事：午後8時10分 喫茶：午後8時30分）
展覧会が午後9時までの日は午後10時まで（ラストオーダー 食事：午後9時10分 喫茶：午後9時30分）
※ 臨時に休業または開店・閉店時間を変更することがあります。

○休館日

毎週月曜日　ただし、月曜日が祝日又は祝日の振替休日となる場合は開館し、翌平日が休館
※ 年末年始 （12月28日～翌年1月1日）、2020年10月19日～2022年 春（予定）は館内施設整備のため全館休館
※ その他、臨時に開館・休館することがあります。

○常設展観覧料

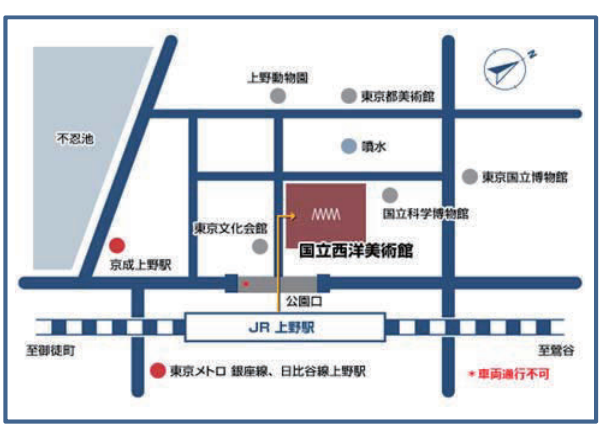
一般/500（400）円　大学生/250（200）円　（　）内は20名以上の団体料金
※ 高校生以下及び18歳未満、65歳以上の方は無料です。
※ 高校生には、高等専門学校の1～3年生までの学生を含み、大学生には高等専門学校の4，5年生又はこれらに準ずる者を含みます。
※ 障害者手帳をお持ちの方（付添者は原則1名まで）は無料です。
※ 企画展（共催展、特別展）の観覧料は展覧会ごとに別に定めます。
※ 国立美術館キャンパスメンバーズは常設展を無料とし、企画展（共催展、特別展）は団体料金を適用します。

○所在地

〒110-0007
東京都台東区上野公園7番7号

○交通案内

JR上野駅下車（公園口） 徒歩1分
京成電鉄京成上野駅下車 徒歩7分
東京メトロ銀座線上野駅下車 徒歩8分
東京メトロ日比谷線上野駅下車 徒歩8分



○お問い合わせ

ハローダイヤル 050（5541）8600
FAX 03（3828）5135

○ホームページ

https://www.nmwa.go.jp/

国立西洋美術館
The National Museum of Western Art

発行　2021年10月1日
編集　独立行政法人国立美術館　国立西洋美術館
東京都台東区上野公園7番7号

印刷　ヤマノ印刷株式会社